

# 税制研究

No. **51** (再刊第11号) 2007年1月

巻頭言：「仕方ない」ですまされるか……………谷山治雄（1）

## 論 説

政府税制調査会答申と今後の動き……………北野弘久（4）

消費税増税なしでの財政健全化……………富岡幸雄（12）

大型間接税・消費税と政権の崩壊……………湖東京至（28）

税制改革の重点「トリクルダウン政策」……………谷山治雄（42）

中小企業を苦しめる、法人税

「役員給与」課税の改悪……………菅 隆徳（51）

適格合併における利益積立金額……………河野惟隆（58）

平成19年度政府税調答申における

金融所得課税のあり方……………武石鉄昭（65）

料調査と権利の保持義務……………浦野広明（74）

「税理士関与状況調査票ファイル」

関与請求に係る審査請求……………長谷川博（83）

道州制と地方自治の行方……………鶴田廣巳（89）

現代的租税法律主義についての一考察……………阿部徳幸（98）

政府・自民党の税制調査会答申

〔項目のみを紹介する〕……………谷山治雄（106）

## 随 想

経済における英語の優位

— 限られた経験からの試論 —……………青木寅男（108）

## 投 稿

資産課税 — 諸側面からの考察 —……………大畑智史（116）

あとがき — ごあいさつに代えて —……………谷山治雄（128）

税制経営研究所